

令和元年度 第2回神栖市生涯学習推進会議 会議録

日 時 令和元年11月22日(金)
午後2時50分～3時50分
場 所 若松公民館 2階 会議室

■出席者

渡邊委員, 白鳥委員, 森作委員, 羽生委員, 宮川委員, 遠藤委員, 五十嵐正雄委員,
五十嵐満子委員, 吉岡委員, 小松原委員 (10名)
市民協働課: 高安課長, 小森課長補佐, 高安主事 (3名)
文化スポーツ課: 小貫課長, 瀬端係長 (2名)

■欠席者

野口委員, 細田委員, 阿部委員, 小濱委員

■傍聴者 (定員10名)

0人

■会議内容

1 開 会

2 あいさつ

3 案 件

(1) 生涯学習推進事業について

市で生涯学習推進計画に基づき行っている生涯学習推進事業の中で, 市民協働課が令和元年度に行った事業について事務局より説明を行いました。

【質疑・応答】

委 員

人材バンクについて質問です。講師の登録条件に, 生涯学習に関する知識・経験等がある方とありますが, 具体的にはどのようなもので, 誰が審査しますか。たとえば, 私は子ども会などの講義を手伝うなどバックアップをする, 生涯学習インストラクターという資格を持っていますが, この内容でも人材バンクへ登録ができますか。

事 務 局

人材バンクの登録の審査は, 市民協働課で行います。審査の内容は, どのような活動をしているか, 何に関して講師がしたいか, です。届出書にて, 講師ができる内容, 教えたい内容で提出いただいて, 審査に通った方が講師登録されるという形になります。

委 員

書類等の審査後に登録されるということですね。

事務局

はい。提出いただく届出書にて市民協働課内で審査を行い、審査後に記載の内容で市民の皆さんへ周知します。

委員

同じところで質問です。講師の登録条件に市民の求めに応じて、指導者として協力出来る方という条件も入っていますが、具体的にどのような内容を市民が求めているかという把握は難しいと思いますが、どう把握しますか。

事務局

講師登録の際に、講師ができる内容、教たい内容で登録し、その内容をホームページなどで周知し、講師一覧を見た人からこの内容の講座を受けたいと連絡がきて、教たい講師と、学びたい市民がマッチングをするという流れです。そのため、市民の求めに応じてという条件ですが、講師が市民からこういう講座を行いたいのでお願いしますというリクエストを受けるというよりも、こういった講座が開催できますので、受講希望者は連絡をくださいといった制度です。

委員

前の委員の質問にもありましたが、学びたい人と繋がるというのは難しい印象です。

事務局

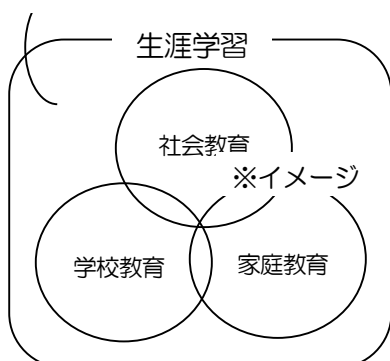
現状として、人材バンク講師の利用は少ない傾向ですので、周知の方法として、生涯学習情報誌「まなびアイかみす」へ、講師に希望調査を行った上で、希望者の情報を掲載しました。

議長

資料の5番目、生涯学習推進計画について、事務局から説明がありましたが、来年度で現在の計画期間が終了します。平成23年度に10か年計画として施行され、平成28年に後期見直しが行われました。そして来年度の令和2年度で10か年計画が終了となります。そのため、来年度は第2次生涯学習推進計画を策定しなくてはなりません。現在、市民協働課が生涯学習推進事業の所管をしていますが、十数年ほど前は、教育委員会で所管しておりました。平成22年度に教育委員会から、より市長に近い市長部局の市民協働課へと所管が移されました。移管された内容は、生涯学習の中から学校教育・社会教育・家庭教育を除くものでした。（※イメージ）

また、元々生涯学習という言葉はありませんでした。社会教育の中に生涯学習という言葉が生まれ、文科省が生涯学習を社会教育の中から取りだし、大きな括りとなりました。生涯学習の中には、社会教育、家庭教育、学校教育も全て含まれるということです。その大きい括りの生涯学習から、社会教育、家庭教育、学校教育を除いた周りの部分だけを、市民協働課で行っているというのが今の神栖市の現状です。そのため、教育関係を統括して行うという意味合いも含め、元々社会教育の所管であった教育委員会に、生涯学習の所管を戻した方がいいと考えます。なお、来年度は計画の見直しを行う必要もあるため、部署によって計画の内容も変わってくると思います。ということで、本日は、委員の皆さんの意見をお伺いしたいと思います。

周りの部分を市長部局へ



委員

生涯学習の中には、社会福祉に関係したり、その他の福祉に関する教育についても含まれていると思います。ですので、一概に教育委員会へというのもどうなのでしょうか。

委員

いろいろな情報を集めやすいのは、どこの部署でしょうか。

議長

教育という括りでみると、教育委員会だと思います。失礼な言い方かも知れませんが、今市民協働課で行っているのは、各部署それぞれで行っている生涯学習の事業をとりまとめ、意見を聞いているだけのことです。実際には、公民館運営審議会であったり、社会教育委員会で各事業の内容について審議をしています。生涯学習推進会議の中でも審議を行い、生涯学習の中でも他の教育関係と重複しているという感覚があります。

委員

重複している部分をどう整理するかという問題もありますよね。

議長

次の推進計画の中に入れるべきですよ。

事務局

生涯学習の所管について事務局から補足で状況を説明させていただきます。移管を行った当時は、生まれてから亡くなるまでのことや福祉の関係もすべて生涯学習に含まれるということもあり、生涯学習の所管を市長部局へ移管しました。そういった全国的なトレンドがあり、神栖市でも市長部局の市民協働課へ所管が移されました。その後も様々な動きがあり、現在、県内44市町村の中で市長部局で生涯学習を所管しているのは、神栖市とひたちなか市の2市のみです。近隣の鹿行地域の市町村でも、生涯学習の所管替え等をせずに教育委員会で事業を行っている市もありますが、隣の鹿嶋市では、一度市長部局で生涯学習を所管していましたが、数年前に教育委員会へ所管を戻しています。全国的にトレンドとして、行政が行う事業を全て生涯学習と結びつけ、生涯学習によるまちづくりというものを目指しましたが、実際に生涯学習を推進していく中で、公民館の講座や学校行事、学校を会場とするような事業など、教育委員会を通じてでないとなかなか調整が効かない部分があ、現在では県内でも神栖市とひたちなか市2市のみが、市長部局で生涯学習を所管しているという状況です。さらに、ひたちなか市は、公民館的な施設の所管、市民大学、家庭教育学級や神栖市でいう「まなびアイかみす」の様な情報誌の発行も全て市長部局で行っているということです。ですので、計画を見直したりする企画立案部門と実際に実施する部門とが分かれているのは、実際には神栖市だけであるというのが実態です。

委員

いろいろな話を聞いて、運営のしやすさなどを考えると、教育委員会で所管する方がいいのではないのでしょうか。

事務局

参考までに運営の方法ですが、実施状況報告書の246事業の中で、そのうち市民協働課で行っているものは説明をした事業の5つで、教育委員会が所管しているものは文化スポーツ課50、公民館45の事業です。246のうち、市民とふれあう機会が多いのは教育委員会で、その他に健康増進課や子育て支援課、長寿介護課などが講座等を行っています。参考に「まなびアイかみす」をご覧くださいと春夏号には、健康増進課、中央図書館、歴史民俗資料館などの講座を掲載していますが、第一リサイクルプラザ、健康増進課以外の多くの講座は教育委員会の講座です。また、秋冬号の「まなびアイかみす」をご覧くださいと、歴史民俗資料館から始まり、中央図書館、海浜温水プール、武道館、健康増進課の講座となっています。市民協働課では、「まなびアイかみす」発行にあたって、各課からどういった講座やイベントがあるのかという情報を収集し、市民の皆さまが年間のスケジュールを立てやすいように周知するため、上期下期で発行しています。講座・教室・イベント情報のほかには、公民館の講座の情報を掲載しています。生涯学習の拠点は公民館です。公民館運営審議会であったり、社会教育委員会で公民館等の講座について外部の委員さんから意見をいただき、公民館の講座を運営しているという状況です。

議長

生涯学習といえば生涯学習であるし、学校教育といえば学校教育であると重複してしまうところがどうしてもあります。ですが、どちらかというところで括るのであれば教育ではないかと思えます。

委員

以前は教育委員会の中に、学校教育課や社会教育課というものがいましたが、社会教育課がその後生涯学習課になり、数年で別の課になったという経緯があると思えます。生涯学習課が行っていた部分で、今の市民協働課が行っているものと別の課で行っているものと、いくつかにまたがっているものもあるかと思えますので、それをどこまで教育委員会に戻すのかという問題もありますよね。

委員

それは内容によって分けるということでしょうか。

事務局

現在はその方向で考えております。

議長

元々教育委員会に生涯学習課があり、その生涯学習課では、スポーツ分野の事業も行っていたので、文化スポーツ課へ変わりました。文化スポーツ課は生涯学習だけでなくいろいろな事業を行っています。

事務局

教育委員会の中には、以前は学校教育課であった学務課、教育施設を請け負う教育総務課、学校の先生方もいる教育指導課、それから文化スポーツ課があります。

議 長

現在、市民協働課から教育委員会へ生涯学習を移すことについて話していますが、これは、それでは来年から生涯学習を教育委員会で行うとってそう簡単にいくものではありません。急に移管できるものではありませんので、ここで出た内容は上へ上へとあげられていき、最終的に決定すると思います。推進会議委員としての意見をここで市へ伝えるというのが私たちにできることです。

事 務 局

さきほど、県内の状況を説明しましたが、神栖市も考えなくてはならない状況にきています。市の行政改革推進課で、行政診断というものを行い、機構改革について外部の意見をいただいたものを参考に事務を進めていますが、市民からの一意見ということで、生涯学習の所管がどこにあるのいいか、お諮りしています。

議 長

4市ある中で2市のみですが、ひたちなか市は特別です。生涯学習も社会教育もとても推進されています。

委 員

文化スポーツ課は、主に小中学校のこどもたちを対象とした行事などを行っているのでしょうか。

議 長

本日文化スポーツ課の職員も同席しておりますので、どういった事業をしているのか伺ってみましょう。

文化スポーツ課

スポーツ少年団や大人については体育協会というものを組織して行っています。

委 員

大人の方のスポーツもやっているのですね。

文化スポーツ課

文化ですと、文化協会では芸術祭や美術展といった芸術のイベントを行ったり、子育て中の保護者に向けて、家庭教育という形で子育てに関する事業などを行っています。また文化財の所管も行っています。

他には、施設の管理運営も行っています。先日オープンしたかみす防災アリーナについても管理を行っています。また、青少年についても文化スポーツ課で所管して、幅広い事業を行っています。

委 員

仕事をしている職員が働きやすいというのももちろん大切ですが、市民の方が応募しやすく参加しやすいという視点も大切だと思います。学校関係については、教育委員会へという認識があるように、大人が生涯学習活動をする際に、問い合わせやすく、応募しやすい方がいいのではないのでしょうか。生涯学習は生まれてから亡くなるまでの活動で、神栖市はとて多くの講座を行っている印象ですので、せつかならたくさんの人が活動しやすくなる方向に整理がで

きたらいいと思います。

委 員

文化スポーツ課がたくさん事業を行っていて、生涯学習推進事業が再び教育委員会に戻るとなると、さらに大変になるのかと思いますが、でも、施設のつながり、スポーツ関係や芸能関係などのつながりを考えると、生涯学習を教育委員会へ戻した方がいいと私は思います。

議 長

こちらは難しい問題ですので、このまま話し合っても終わりがありません。このあたりで、だいたいの推進会議としての方向性や意見というものは出たかと思います。他に市民協働課の事業について何かご意見やご質問はありますか。最初の質問で人材バンクについてなどありましたが、他にはないでしょうか。

事 務 局

人材バンクについて2つほどご質問いただきました。市民協働課にて市民活動支援事業という事業も行っていて、市民活動の拠点施設、市民活動支援センターという場所で、学習機会の提供をすることと合わせて人材の育成という面で、人材バンクは引き続き市民協働課で行いたいと考えております。市民協働課で行っている生涯学習事業の中で、それぞれ事業ごとに分けて考えるのか、という質問がありましたが、市民協働課で行うべき事業と教育委員会で生涯学習の現場に近くで行う方がいい事業と、内容によって精査をしていくべきだと考えています。

議 長

「まなびアイかみす」はどこが作成していますか。

事 務 局

市民協働課にて作成しています。

議 長

昔は1枚の紙であったので、今の冊子のかたちはすごいことだと思います。広報に載せ、とりまとめるのであれば、市民協働課で作成した方がいいと思います。

事 務 局

今回、市民協働課の事業や状況を説明し、みなさんから意見をいただきましたが、「まなびアイかみす」も冊子になるまでに、何度も委員の皆さんの意見を聞き、「もう少し字が大きい方がいい」「もっと写真が多い方がいい」などという意見をとり入れ、現在は編集業者をいれて、冊子のかたちで発行をしています。広報紙は、右開きですが、「まなびアイかみす」は左開きです。あえて広報紙と区別を付けるために反対開きにしています。広報紙へ「まなびアイかみす」が挟み込みになったということを知らない方も多いため、あえて逆開きにしています。パッと見た時に裏表紙と分かるようにしていますが、より区別がつく工夫などありましたら意見をお願いします。実際昨年度の「まなびアイかみす」は、裏表紙の中央に大きくカミスココくんを掲載してみてもどうか、という意見から作成しましたが、賛否両論あり、広報紙に挟み込むかたちで発

行していますので、統一感を持たせるため、今年度の裏表紙のかたちになっています。また何か意見がありましたら、参考にさせていただきます。

委員

別件ですが、以前団体に向けて生涯学習のアンケート調査がありましたが、どういう趣旨でアンケートを行い、どういった団体に調査をしたのでしょうか。

事務局

さきほど会議の前に太田小学校にお邪魔し、企業の出前講座を見学しましたが、実際に市内でどれくらいの企業が出前講座を開催しているのか、また、市民団体には企業開催の講座のニーズについて実態調査として行いました。6社から9つの講座が開催できると回答があり、回答のあったメニューを市民団体へ周知し、開催を希望するかの調査を行いました。調査の対象は、市民協働課所管の市民活動支援センター登録団体の85団体です。

さきほどの人材バンクと同じように、教えていただける知識経験のある方と学びたいという市民団体のマッチングという目的で、今回の調査を行いました。

4 その他

<審議会の公開について>

事務局：会議の結果はホームページで公開することとなり、会議録の概要を掲載します。

5 閉会

議長：閉会あいさつ

— 午後3時50分 —